

# 資料編

ビジョン策定に向けた検討の経緯

島民をはじめ、地域に関わる方々・民間団体と連携し、  
公民連携で進めてきた検討プロセスを次に示します。

- ① 離島振興計画（平成31年3月策定）
- ② ゴへ!! 島活（平成28～平成30年度）
- ③ 出島ストーンサークル探検ツアー（民間：女川未来会議出島プロジェクトの取組み）
- ④ 島民懇談会の開催（令和4年度）
- ⑤ 出島振興協議会の発足・開催（令和4年度～）
- ⑥ 令和4年度島民アンケート調査
- ⑦ 取組の試行（令和4年度：マリンアクティビティ体験会、令和5年度：島の魅力体験会、umihamaそうじ、沿線まるごと社を招いての勉強会、MNSBモニターツアー）

## ① 離島振興計画

- 平成31年3月に「女川町離島振興計画2019」を策定し、各分野で施策を展開しています。
- 策定に向けて平成30年度島民懇談会（全3回）を開催し、島民の意見を計画に反映しました。

### 計画期間：

平成31年度から令和10年度まで（10年間）

### 計画分野：

交通、産業振興、生活環境、医療・福祉・介護、防災・エネルギー、教育・文化、観光、自然環境、交流人口の増加、移住・定住

### 出島振興に関連する内容：

（第5章）出島架橋完成を見据えた出島の計画(交通、観光、生活・自然環境)

## ② ゴへ!! 島活

- 「住民主体のまちづくり活動（まち活）支援事業」を活用し、活力ある集落のモデルづくりの一環として、出島地区の女性団体「なでしこの会」を中心に、若者との意見交換や地域資源マップを作るワークショップを実施しました。
- 出島、寺間地区の垣根を越えた実行組織として結成された「ゴへ!! 島活（代表 須田菊男 寺間区長）」では、活力ある島の集落づくりのため、椿油の作製や観光マップの作成を実践しました。  
（平成28年度～平成30年度）



### ③ 女川未来会議出島プロジェクト

(一社) 女川未来会議出島プロジェクトが以下の取り組みを実施しています。

#### 出島ストーンサークル探検ツアー

- 出島ストーンサークル（出島配石遺構群）の周辺の草取りを有志で行い、出島の新たな観光資源として開発を進めています。

#### 出島トレイルルート整備事業

- 出島トレイルのルートを設定し、草刈りや階段整備、養殖ブイなど海岸漂着物の撤去を行っています。



## ④ 島民懇談会の開催

令和4年度に、出島架橋後の出島の施策を具体的に検討することを目的に、出島寺間地区の懇談会を開催しました。

No.	開催日	住民参加人数
第1回 懇談会	令和4年5月10日開催	15名
第2回 懇談会	令和4年7月15日開催	34名
青年部 懇談会	令和4年8月19日開催	6名

### 【島民の出島架橋後のイメージ】

- ・ 本土の親族や友達との親交機会が増える
- ・ 買い物が楽になりそう（船と島の車の積み下ろしがなくなる）
- ・ これまでの「のんびり」さがなくなる
- ・ 釣り客が多くなりそう
- ・ 住居が浜から離れているので盗難等の不安はある
- ・ 治安が悪くなると思う
- ・ よそ者が怖い
- ・ あまり具体的なイメージがわからない

## ⑤ 出島振興協議会の発足・開催

令和4年12月20日に出島振興協議会を発足し、令和6年3月までに全5回の会議を開催しました。

No.	開催日	主な議題
第1回協議会	令和4年12月20日	部会毎の役割決めなど
第2回協議会	令和5年1月27日	アンケート取りまとめなど
第3回協議会	令和5年5月2日	出島魅力体験会実施検討など
第4回協議会	令和5年7月7日	施設整備関係打合せなど
第5回協議会	令和5年9月28日	施設整備関係打合せなど

## ⑥ 令和4年度島民アンケート調査

令和4年度、出島架橋に向けた住民意識や課題を把握するため島民アンケートを実施しました。

配布世帯数：65世帯 ※各世帯4部同封

(出島地区：24世帯、寺間地区：27世帯、青年部員：14世帯)

実施期間：令和4年12月26日から令和5年1月10日まで

回答状況：回答者数 49人 (31世帯)

(地区別・年代別回答状況)

地区	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
出島	0人	0人	1人	0人	5人	8人	6人	20人
寺間	0人	1人	0人	2人	3人	8人	2人	16人
島外	2人	1人	5人	0人	4人	1人	0人	13人
合計	2人	2人	6人	2人	12人	17人	8人	49人

## ⑥ 令和4年度島民アンケート調査

### 1) 将来の展望

問い：出島架橋後、将来に対して期待することは

結果：以下を期待する回答が多かった

- ・人口の増加
- ・町中心部の交通利便性
- ・防犯対策

結果から示された当面の課題：

- ・交通(JR石巻線や通院を考慮した町民バス等の運行計画検討)
- ・防犯対策、生活・自然環境の維持
- ・移住、定住

問い：出島架橋後、将来に対して心配していることは

結果：以下を心配する回答が多かった

- ・釣り客の増加によるトラブル
- ・観光施設がない
- ・自然環境の整備・保全
- ・防犯対策

結果から示された当面の課題：

- ・観光(来島者増加に伴う案内看板等やトイレ等の整備検討)
- ・防犯対策、生活・自然環境の維持

・出島 ・寺間 ・島外	20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代以上		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	2	0	2	0	5	1	1	1	3	9	9	8	1	7	23	26
【出島架橋後の将来に対して期待することは？】3つ選択																
人口の増加	0	0	1	0	3	0	1	0	2	4	4	1	1	4	21	
釣り客の増加	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	1	0	7	
観光客の増加	2	0	1	0	4	0	0	0	1	2	1	1	0	1	13	
町中心部の交通利便性	0	0	1	0	1	1	1	1	2	7	9	4	1	4	32	
自然環境の整備・保全	0	0	0	0	3	0	1	0	0	3	3	3	0	1	14	
災害対策	0	0	1	0	0	1	0	1	2	2	5	2	0	1	15	
防犯対策	2	0	1	0	4	1	0	0	1	4	4	4	0	3	24	
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	3	
合計	6	0	5	0	15	3	3	3	8	27	27	15	3	14	129	
【出島架橋後に心配していることは？】3つ選択																
人口の減少	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	2	0	0	1	6	
釣り客の増加によるトラブル	2	0	2	0	5	1	1	1	2	6	6	2	0	2	30	
観光施設がない	0	0	1	0	2	0	0	0	2	4	4	1	0	1	15	
町中心部の交通利便性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	1	5	
自然環境の整備・保全	0	0	0	0	2	1	1	0	1	3	3	2	1	2	16	
災害対策	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	4	
防犯対策	2	0	1	0	5	1	1	1	2	7	7	5	1	4	37	
空き家等の増加 その他	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3	
郵便物の配達	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0	2	5	
合計	6	0	5	0	15	3	3	3	9	24	24	14	3	14	123	



## ⑥ 令和4年度島民アンケート調査

### 2) 公共交通について

問い：離島航路に代わる町民バスの運行便数の希望は

結果：JR石巻線や通院を考慮したバスの運行として3便を希望する人が多かった

結果から示された当面の課題：

- ・交通(JR石巻線や通院を考慮した町民バス等の運行計画検討)

地区別	2便	3便	4便	5便
出島	2人	10人	1人	0人
(理由)	・通院のため	・離島航路の便数と同じ ・他地区と同じ便数 ・JRとの接続	—	—
寺間	2人	10人	3人	1人
(理由)	・自家用車の人が多いため2便でよい	・離島航路の便数と同じ ・人口が増えたら便数を増やせばよい ・他地区と同じ便数 ・JRとの接続	・便数が多ければ自由に移動できるから	・3便は運行間隔が空きすぎて無駄な待機時間が増えるのではないか
島外	2人	8人	0人	0人
(理由)	・午前と午後に一便ずつほしい	・北浦便との一緒だと合理的 ・乗合タクシーの検討 ・他地区と一緒に ・2便だと仕事の時間に合わない時があると思う	—	—
合計	6人	28人	4人	1人

## ⑥ 令和4年度島民アンケート調査

### 3) 観光について

問い：出島魅力体験会実施など、来島者が増えることに対してどう考えますか

結果：来島者の増加について、肯定的な回答がほとんどだった

結果から示された当面の課題：

- ・交通(JR石巻線や通院を考慮した町民バス等の運行計画検討)
- ・観光(来島者増加に伴う案内看板等やトイレ等の整備検討)
- ・防犯対策、生活・自然環境の維持
- ・移住、定住

地区別	良いことだと思う	反対はしない	良いことだと思わない
出島	4人	10人	1人
(理由)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島のことを知ってもらうのはよいこと</li> <li>・来てみたいという人が結構いる</li> <li>・島に賑わいが出てよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみが増える</li> <li>・今まで船の時間の関係でまちなかのイベントに参加できなくて残念だった</li> <li>・トイレが少なく民家に来られても困る</li> <li>・マリンスポーツは仕事の支障にならないように</li> <li>・人が来ないとほじまらない。足を運んでほしい</li> <li>・ルールが必要</li> </ul>	—
寺間	7人	7人	0人
(理由)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口が増えることを望む</li> <li>・島のPRになるため</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マナーなど、ルールが必要</li> </ul>	—
島外	3人	10人	0人
(理由)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マナーを守ってもらえれば島が盛り上がりやすい。</li> <li>・永住につながる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的な管理をどうするのか</li> <li>・漁業や生活の支障にならないように</li> <li>・ゴミのポイ捨てが心配</li> <li>・島に活気が出るのはよいこと</li> <li>・一過性ではなく定期的な企画がよい</li> </ul>	—
合計	14人	27人	1人

## ⑥R4年度島民アンケート調査

問い：出島寺間地区振興協議会で議論してほしいことはありますか

結果：

- ・若者の意見を多く取り入れてほしい
- ・海岸側への街灯の増設
- ・道路標識等の設置
- ・施設維持管理方法(トイレなど)

結果から示された当面の課題：

- ・観光(来島者増加に伴う案内看板等やトイレ等の整備検討)
- ・防犯対策、生活・自然環境の維持

## ⑦-1 取組の試行 | マリンアクティビティ体験会

### 体験会概要：

日時：2022年11月3日（祝木） 9時00分 - 15時00分

場所：女川町まちなか交流館ホール

参加者：NSSC代表 白土栄一氏、白土博子氏

NSSC 会員15名

モノコトビト 末、伊藤

女川町役場企画課 佐藤、佐々木

産業振興課 清水

復興庁インフラ班 岡部、櫛田

宮城復興局 善方、宍戸

(株)オオバ 山崎、竹村、菅原

### スケジュール：

9：00 御前浜から出島へSUP出艇

10：00 出島到着・島内散策及び軽食（1時間程度）

11：00 出島から御前浜へSUP出艇

12：00 御前浜到着・片付け等

13：00 まちなか交流館にて昼食

14：00 アンケート配布・座談会

15：00 解散

### 体験会目的：

マリンアクティビティのフィールドとしての可能性を探るため、SUPのインストラクター、中上級者に出島周辺の海を体験していただいた。

架橋後は車両で出島に訪れ、出島周辺でアクティビティを行うことが主となると想定されるが、出島へ向かう船舶に十分なSUP用品を積載できないため、今回は本土から出島までSUPで渡島をするコースを設定した。



体験会ルート

## ⑦-1 取組の試行 | マリンアクティビティ体験会

### 座談会：

#### (1) 女川町出島のフィールドとしての適性

参加者の多くが、女川町の海の美しさと島の景色が魅力的であると述べていた。女川町の海は透明度が高い。

また、宮城県沿岸部の多くは震災の影響から防波堤があるため、女川のようにオーシャンビューとなっている海は少ないことから、出島はSUPフィールドとして非常に好評であった。今回のコースは比較的波の穏やかな海であるが、当日は普段に比べ少し波のうねりがあったため、中級者以上なら変化もあってトレーニングにもなる良いコースだが、初心者には難しいという意見が挙げられた。一方で、出島近海の島影となる内湾部ではより波も穏やかであり、そこでなら経験の浅い方も楽しめるという意見もみられた。修練度に合わせた多様なコースを設定できる。

よって、初心者から中級者・上級者まで、多様な人々が楽しむことができるゲレンデの特性や、風光明媚な風景により、スポーツはもちろん、観光振興面からもSUPポテンシャルの高いと言える。

#### (2) ソフト面の整備について

出島はSUPに適したエリアであるため、参加者からは架橋後にマリンアクティビティをするため来島する人が増加することが想定される。これにより、無秩序な利用が増え、漁業者とのトラブルが発生する危険性が上がることを懸念する意見が多く挙げられた。シーグラスや、笹蒲鉾（地場のもの）に対しては、高評価だった。

よって、管理者の設置やマリンアクティビティを行う際のルール設定と周知を、漁業関係者との意見交換により、合意形成を図るとともに、ルールの発信媒体構築が必要である。同時に、シーグラスの周知や地場食品の提供サービスの導入に向けた検討が望まれる。

## ⑦-1 取組の試行 | マリンアクティビティ体験会

### 座談会：

#### (3) ハード面の整備について

SUPを行うために必要な設備は、トイレ、SUP用品の出し入れが可能なスペースを確保した駐車場、シャワー等洗い場、更衣室、自動販売機等飲み物を買える場所が挙げられた。また、今回の海へ入るためのエントリー場所は、貝殻や海苔が多く滑るため、砂浜が最適だが、難しい場合は階段型の護岸の整備、または貝殻と海苔を落とす定期的な清掃の必要性が挙げられた。

よって、これら要望を実現するために、官による施設整備の推進に向けた具体の検討が求められるとともに、民による管理体制構築に向けた取組が必要である。

### アンケート：

#### ○実施概要

対象：マリンアクティビティ体験会参加者（NSSC17名）

配布数：17

回答数：16

回収率：94%

実施方法：当日アンケート配布及び回収、もしくはweb回答（11/3～11/10）

## ○集計結果

### Q1.体験会満足度

女川でSUPをするという体験は非常に満足度の高いものだった。その理由は海の綺麗さや、コースから見える景色の綺麗さが多く挙げられていた。また、少しうねりのあるフィールドで楽しめたという意見もみられた。

### Q2.リピート意向

ほとんどの参加者が、今後も今回のようなガイド付きの体験会に参加したいと回答した。架橋後に個人で訪れたいかという設問では、全員が訪れたいと回答した。

### Q3 出島のマリンアクティビティにおけるポテンシャル検証

女川の海は比較的穏やかであり、水面の状態や周辺の景観も含めSUP等マリンアクティビティに適したエリアであるという意見が多くみられた。今回のコースはうねりがあり、距離も長い為、初級者が気軽に楽しむには向かないが、出島周辺であれば波もさらに穏やかで、様々な見どころもあるため、初級者向けのコースとすることが可能である。

### Q4 支払意思額

5,000円もしくは5,000円以上との回答がほとんどであった。その理由は、危険が伴うため保険や専門のインストラクターの費用として相応の金額設定とすべきというものである。

### Q5マリンアクティビティ推進に向けたハード整備及び商業施設の需要

#### ① ハード整備

全員がトイレと駐車場が必要と回答しており、次いでシャワー等洗い場という結果であった。

#### ① 商業施設整備

商業施設については飲料販売が最も多く挙げられた。今回の参加者の中で脱水症状が見られた方もいたため、自動販売機や水飲み場等の飲料確保はSUP推進において優先的に整備することが望ましい。

飲食店に対しても一定のニーズが確認できた。中には、オーシャンビューの活用を提案する内容もあり、地域の魅力を最大限に活用した施設が望まれている。

#### ○その他自由記述

マリンアクティビティを行う上で、ローカルルール作りと、漁業関係者との関係構築が必要であることが挙げられた。

## ⑦-1 取組の試行 | マリンアクティビティ体験会

### 成果:

---

今回の実証実験では、出島の水面や風景が、中級者以上のみならず、初心者の利用も含めた地域振興に資するマリンアクティビティに適した場所であることが実証された。

---

### 課題:

---

実験を通じ、本格実施に向けた課題も明らかとなった。ここでは、課題をハード整備、コース、管理運営の担い手確保に区分し整理する。

---

#### 【課題1】ハード整備

SUPは、用具が大きく、車での来訪が基本となるため、駐車場が必須である。また、準備を行うスペースを考慮し、駐車場の規格及び配置計画には配慮することが望ましい。

トイレも現状では漁港周辺のみであり、エントリー場所と漁港に距離が生じる可能性もあるため、整備を検討する必要がある。

また、座談会ではSUPのエントリー場所について多くの指摘を受けた。発着点は砂浜が望ましいが、出島の砂浜は流木等のゴミが多く現状では利用が難しい。砂浜が難しい場合は、エントリー用の階段を設けるなども有効である。



### 【課題2】 コースの設定

様々な修練度に応じたコースを設定できる可能性が出島の魅力として挙げられた。離島振興に資するコンテンツとしてSUPを捉えると、非常に高いポテンシャルを有すると言える。一方で、養殖網が点在する状況から、これらに影響しないコース設定も重要である。

よって、今後の実装を検討するにあたっては、専門家及び漁業関係者と将来的な管理運営主体が協働で複数コースを検証・決定していくことが求められる。

### 【課題3】 ルールの設定

マリンアクティビティは事故の危険性を伴うスポーツであり、また漁業関係者とのトラブルの可能性も十分に考えられる。それらを未然に防ぐためには、ルールの設定・周知およびルート周知を図る必要がある。ルール検討にあたっては、ルートと同様に、経験のあるガイドや漁業関係者を含めて協議を行い、立ち入り禁止区域や、入水する際の条件を定め、必要があればそれをSUP中も持ち運び可能なマップで示すことが望ましい。また、観光協会等も含めた周知体制の構築が不可欠である。

### 【課題4】 管理運営の担い手確保

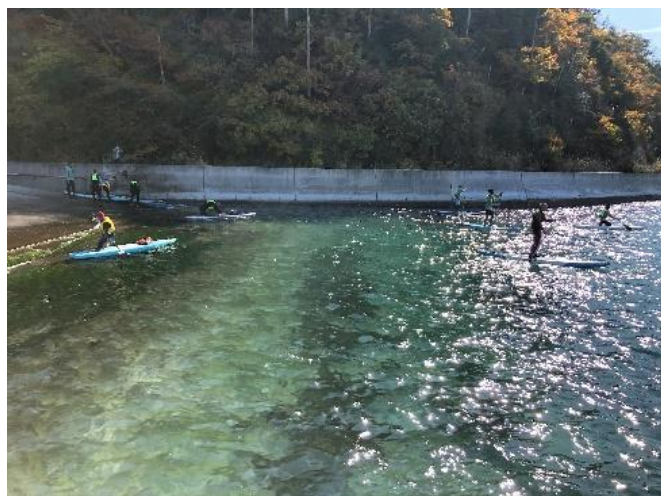
エントリー場所の管理やルールの周知徹底をはじめ、出島のマリンアクティビティを管理運営の担い手を確保する必要がある。また、エントリー場所は、安全性担保のために定期的な清掃が必須である。

管理運営の担い手はマリンアクティビティの管理者としての知見があり、漁業関係者との協議を円滑に進められる者が望ましい。例としてはマリンアクティビティ関連事業者やNPO、観光協会が候補として考えられる。

管理運営体制の検討を行い、実現化することが今後の課題である。

# ⑦-1 取組の試行 | マリンアクティビティ体験会





## ⑦-2 取組の試行 | 島の魅力体験会

### 体験会概要：

開催日：令和5年6月25日（日）

開催場所：出島漁港付近及び久栄荘跡地周辺

参加者：NSSCメンバー×8名（初心者クラス）、インストラクター×3名 町内家族連れ×7名（子供2名）

復興庁×2名(田辺、上原) 宮城復興局×2名（笹川、宍戸） オオバ×3名(山崎、竹村、増田)

役場×2名(清水係長、佐藤主事) モノコトビト×3名(末 伊藤 青柳) カメラマン×1名

チャーター船 乗船人数：30名

協力：高野代表 出島区長

### 体験会目的

#### ① 出島島民による海辺の観光資源の提供実験

出島架橋の開通後を想定し、島外からの来訪者に島民からサービス提供をどのような内容でどのように実施するかを想定した実験を行う

#### ② マリンアクティビティの実施ルール設計に資する知見の収集

マリンアクティビティを実施する際に留意すべきポイントを、島民の視点・来訪者の視点でチェックし、実施ルールを設計する際の知見として収集する

### 体験会内容

出島漁港近辺の内湾にて、初心者向けのSUP体験の実施

体験会後に出島の旬を味わうBBQの実施（島の人たちとの交流） & 体験会への意見交換会の実施（今後のサービス内容の検討材料）

## タイムスケジュール

- 8:00 現地集合（女川観光棧橋）
- 8:30 受付（エントリー）
- 8:50 チャーター便へ乗船（荷物搬入）
- 9:00 出島へ出発
- 9:30 出島漁港到着 久栄荘跡地へ移動
- 9:45 開会式
- 10:00 体験会開催（SUPの基礎）
- 10:30 SUP体験（湾内クルーズ）
- 11:30 体験会終了
- 途中休憩を入れながら —
- 12:00 島の食材体験&懇親会
- 13:30 湾内清掃活動&後片付け
- 14:00 閉会式（終了後出島港へ移動）
- 14:30 チャーター便へ乗船、アンケート調査票の配布
- 15:00 女川観光棧橋着
- 15:20 解散



# ⑦-2 取組の試行 | 島の魅力体験会

議題のトピック：



チャーター便で移動（女川→出島）



出島港でさっそく水面をのぞき込む



出島港内をSUPで横断



開会式



インストラクターによるSUPレクチャー



SUP体験（ビッグSUP）



SUP体験



SUP体験

# ⑦-2 取組の試行 | 島の魅力体験会



SUP体験



浅瀬で遊ぶ子ども



昼食



ホヤとウニ



ホタテ



流木で遊ぶ子ども



湾内清掃活動



集まった海岸漂着物



チャーター便で移動 (出島→女川)

参加者  
アンケート結果：

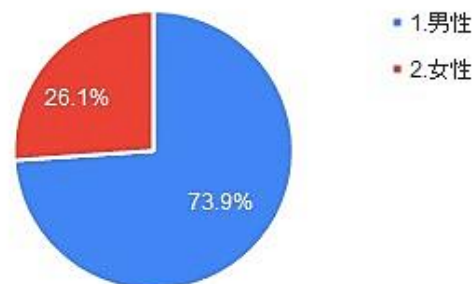
## 1 島の魅力体験会の結果

### ①アンケート回答者 属性

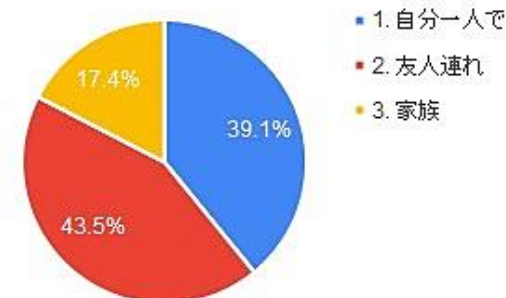
参加者は、1人で参加あるいは仲間連れ、家族連れで、SUPは初心者～中級者



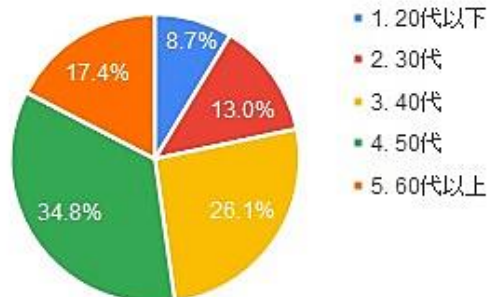
Q0-1. あなたの性別を教えてください。  
回答数 23



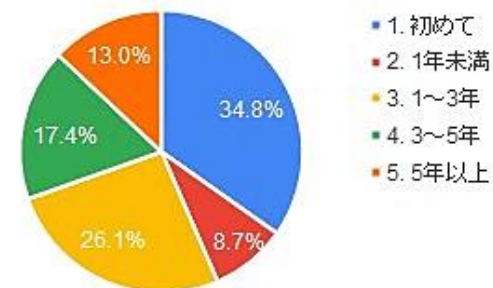
Q0-3. 今回のご参加の人数を教えてください。  
回答数 23



Q0-2. あなたの年齢を教えてください。  
回答数 23



Q0-4. あなたのSUPの体験歴を教えてください。  
回答数 23





# 1 島の魅力体験会の結果

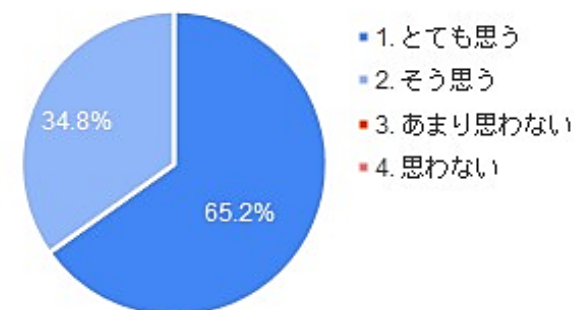
## ②SUPを通じたマリンアクティビティ環境について

体験会の満足度は高く、マリンアクティビティ環境としての出島の評価は高い

Q1-1. 今回の出島の魅力体験会の満足度はいかがでしたか。  
回答数 23



Q2-1. 今後出島で、今回のような「ガイド付きSUPツアー＋ランチ」が開催されたら、また参加したいと思いますか。  
回答数 23



Q1-4. 出島での清掃活動の満足度はいかがでしたか。  
回答数 23



Q3-1. あなたがSUP初級者にSUPを楽しむ場所を紹介する場合、出島は適していると思いますか。  
回答数 23



# 1 島の魅力体験会の結果

## ②SUPを通じたマリンアクティビティ環境について

出島は波が穏やかな水面があるため、マリンアクティビティの初心者でも楽しめるフィールドであることが確認された

Q3-1. あなたがSUP初級者にSUPを楽しむ場所を紹介する場合、島は適していると思いますか。

回答数 23



Q3-2. 理由をお聞かせください。（自由記述回答）

1 とても思う	<p>波が穏やか 波が穏やかで景色も良い。 波、流れがないから 海が穏やか、エントリーしやすい、水質がよく、景色も良い 波が穏やかで海と島の景色が良かった。</p> <p>外洋は潮の流れが強いと思われるので、危険ですが、今回の場所はとても穏やかで風向き次第では楽しめる場所だと思います。 波がなくおだやか。水がきれいなので砂浜がある。 風の影響を受けにくく、水深も程よく、透明度が高い。 穏やかで静かな入り江は初心者にとっての上ない環境 まず、本島より離島の上が海の透明度が抜群に良い。風が当たらないスポットがあるので初心者でも十分に楽しめると思いました。 砂浜がありとてもキレイだから。安心安全な場所だから。</p> <p>波や風が静かで安全なので 安全だから風の心配ない！ 波もなく、景色がよい 波がおだやかなのでSUPしやすいと思いました。陸に流される不安をあまり感じなかった。</p>
2 そう思う	<p>外洋に面しておらず、波が穏やか。エントリー付近も浅瀬で入りやすい。ただ浅瀬の岩は撤去した方が良いでしょう。 本土側に向けた湾内なので風、波、潮流が穏やか 迫力ある崖や海蝕洞窟があって楽しめる 透明度がよくウニ、ムール貝？、ヒトデが見れる 他と比較すると松島湾内は透明度が悪く水中があまり見えない エントリー場所がヘドロや貝殻が多く快適ではない 室浜から嵯峨溪へ行くルートは初心者禁止のようです 中級以上でも、うねりや風がある日はちょっとたいへん</p>
3 あまり思わない	<p>教えてくれる人もいないし、漁港で漁師さんが仕事をしていて気軽にできる雰囲気ではないから。 エントリーする浜の足場が悪いのが気になった</p>

# 1 島の魅力体験会の結果

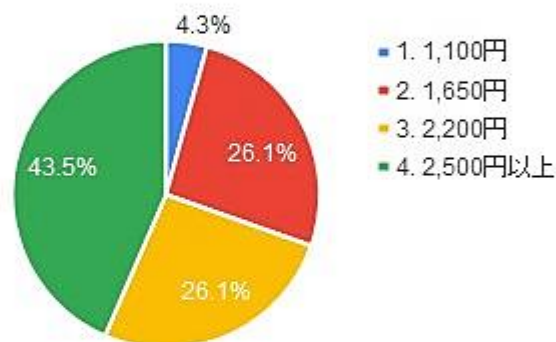
## ③アクティビティに対する価格感

当日の昼食に対する評価は高く、2/3以上の方が2,200円以上が妥当と回答した。(ホタテ、ホヤ、生ウニ、おにぎり)

食事付きのSUPツアーに対しては半数の参加者が「9,000円以上」の参加費が妥当と回答した。

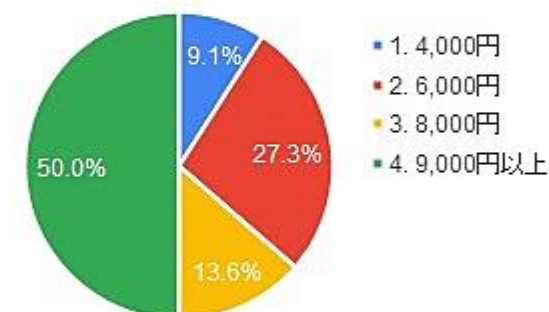
Q1-3. 出島架橋が完成した後、本日のような昼食が食べられるとしたら、1食いくら価格(税込)だと食べにきてもよいと思いますか。

回答数 23



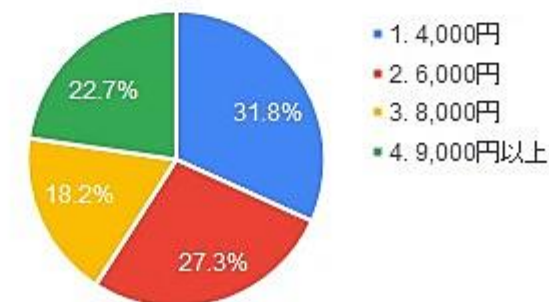
Q4-1. 出島で架橋後に今回のような「ガイド付きSUPツアー(レンタル品あり)+ランチ」が企画された場合、参加者1人当たりの参加費(税込)はいくら程度が妥当(集客可能)だと思いますか。

回答数 22



Q4-2. 出島で架橋後に「ガイド付きSUPツアー(レンタル品あり)」のみが企画された場合、参加者1人当たりの参加費(税込)はいくら程度が妥当(集客可能)だと思いますか。

回答数 22

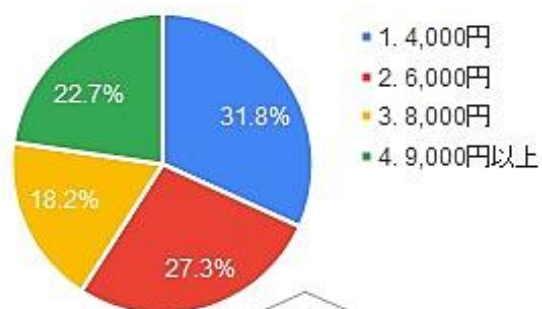


# 1 島の魅力体験会の結果

## ③アクティビティに対する価格感

Q4-2. 出島で架橋後に「ガイド付きSUPツアー（レンタル品あり）」のみが企画された場合、参加者1人当たりの参加費（税込）はいくら程度が妥当（集客可能）だと思いますか。

回答数 22



Q4-3. 感想や意見がございましたらお聞かせください。  
(自由記述回答)

3. 適正な価格設定は難しいと思いますが、あまり高すぎると利用者が来ないと思うので、他のサービスで売上確保ができれば良いと思います。  
8,000円 ランチ付きは内容によりますが、満足すれば9,000円以上になると思います。
4. 何も持ち物を持たずにSUPができるなら一万円程度払って良いものと思う反面、水道のなさやトイレのなさと言う不便さをどこまで許容できるかというところはある。  
9,000円 トイレが船着場とSUPエントリー付近の2箇所にあるといいな円以上 と思いました。女性はトイレが近いので...  
SUPで何をどう皆さんへ紹介をしたいのかを明確にして、ガイドツアーの行程が作れたら更に楽しさ倍増しますね！

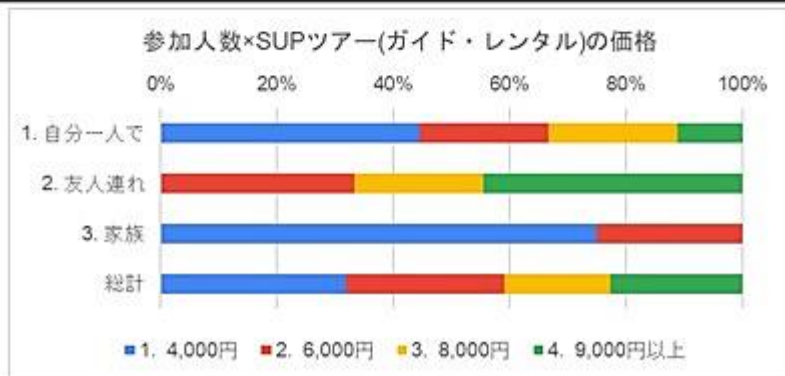
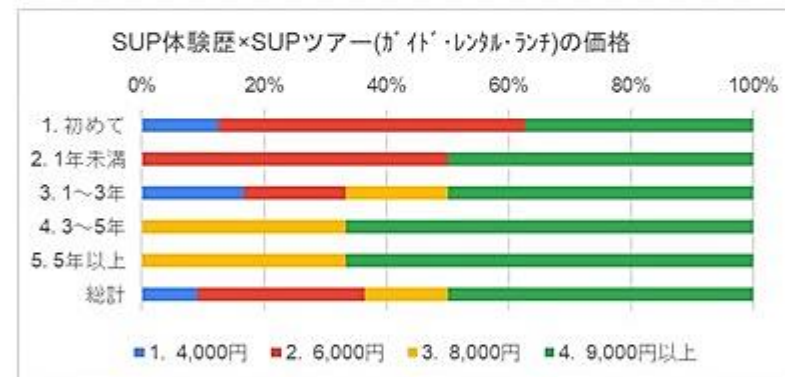
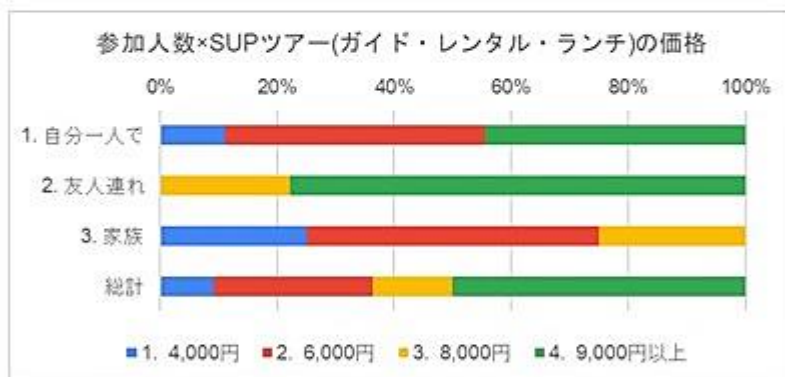
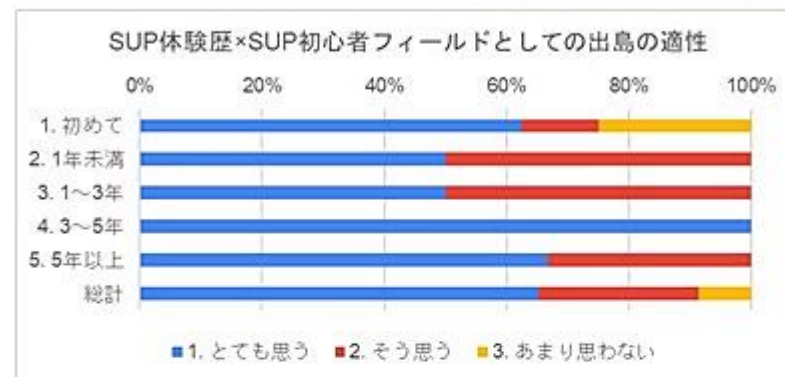
ガイド付きSUPツアー（食事なし）に対する価格感は、参加者内で開きがあった

- 2時間ぐらいが良いかなと思いました！
1. 5千円を超えると体験として、敷居が高い。  
4,000円 家族でしたい場合の家族割や子ども料金もあると人が集まりやすいと思う。  
4時間後はSUPしたいです  
この界隈の相場かなと思います。  
手ぶらで参加できるならJRの時間に合わせて、仙台圏の人とかでも参加すると思う。（道具や仲間がいなくて、ちょっとやってみたい人向け）  
出島は、全国のサップファンが「一度は行ってみたい」と思うほどの要素が揃っています。風の影響、波の影響、景観、水色。サップ未経験者と経験者とは、乗りたいと思うボードが異なります。よく、観光地でボードレンタルを見かけますが、管理の悪い初心者向けのオーリマイティボードしかないため、結局借りないということが結構あります。そうすると500円でもかりるひとは
2. 6,000円 いないでしょう。  
明るいスタッフと丁寧に扱われたギアが揃って初めてワクワク感が生まれるような気がします。経験者は自分のボードを持ってくるでしょうが、それでも借りて乗ってみたいくなる、そんな施設だったらいいなあ。  
参加費は各社にたようなもので、1000～2000円くらいの差なら綺麗な海へ行くとおもいます。  
宣伝が重要だと思います。クーネルSUPスクールのインスタはきれいな画像満載なのでぜひそれ以上を目指してください！晴天時の青空&透明な海で、ゲストが楽しそうにしてる写真を上手く撮ってください！

## 1 島の魅力体験会の結果

## ③アクティビティに対する価格感（クロス集計）

家族連れには、手ごろな価格帯が好まれる



# 1 島の魅力体験会の結果

## ④ 要望や課題

トイレやシャワー等の水場、休憩所の整備要望があった他、ルール策定に関する意見もあった

Q1-5. 出島体験の感想や意見がございましたらお聞かせください。

- ・トイレ (4)
- ・水道・シャワー (2)
- ・ごみ (3)



自由に使える**トイレ**と**水道**が欲しい。有料でも構わない。その二つがあれば海遊びは十分と思う。水道も、シャワーとしても、洗い場としても使えるようなものであれば良いと思う。**水道の蛇口に散水ホース**をつけただけで十分。

**シャワー**があると良い

子どもに非日常の有意義な体験をさせてあげることが出来て良かったです。最後に**ビーチクリーン**したのは良かったです。安全面でも少しずつでも片付けていく必要があると思います。**トイレ**は船着場まで我慢したので、フィールドの近くにあったほうが良いと思います。

自分がお金を払って参加したとしたら、食材はとて面白いけど、もっとお洒落な感じにして出されたらテンションが上がって満足度が増す。**ごみ**は結構あったので、もっとキレイにしたかった。

清掃活動をして気づきましたが、意外と**漁業関係のゴミ**が多いと感じました。開通後継続して(月1)でクリーン活動をした方が良いと思います。海が綺麗、ウニとホタテとホヤがとってもおいしかったです！穏やかな海なのでSUP向きだと思いました。**トイレ**がもう少し綺麗だと女性としては嬉しいです。

島の美しい自然の中で海遊びに島の海の幸に大満足の素晴らしい時間でした。いくいくはインフラが島の海辺に整備されて、**シャワー**、**トイレ**等の過ごし易さがUPしたら更に嬉しいです！

島の人たちのおもてなしがすごかったです。これから橋がかかって、人の出入りも今まで以上に多くなると思いますが、出島のきれいさを守ってほしいと思います。(ゴミの問題や外部から来た人たちへのルール作りなど。特に釣りの人など)

Q5. その他、ご意見があればお書きください。

- ・トイレ (5)
- ・休憩所・四阿・待合室 (5)
- ・水道・シャワー (3)
- ・着替えスペース (3)
- ・駐車場 (2)

**トイレ**および**日陰で休める場所**、**着替えができる場所**があれば尚良いと思う。また架橋後のことを考えると、**十数台が駐車できる場所**の確保が必要。

いかんせん出島で遊ぶためには初心者には向かないと感じる。自然と、地域と共存し、誰にも迷惑をかけず遊べるアウトドア上級者になら良いとは思いますが、現状では初心者には向かない。

**トイレ**、**水道**があれば、海で遊ぶ人たちやキャンパーなどはすぐに利用したいと思います。島で遊ぶ際の、**窓口的な人や施設**があるといいかもしれません。

雑草、ゴミが目につかなくて**洒落た感じの休憩所**や**トイレ**、**着替え**、**水で海水を流せる所**が整っていれば、高くても参加する人はいると思う。(インスタ映えすれば宣伝とくにしなくても広まる)

初めてSUPをする時はマンツーマンで5分でも10分でもパドルの使い方、こぎ方を教えて欲しいです。海でもマンツーマンで30分でも一緒にレッスンしてもらえる内容であれば6,000円位でも良いと思います。高くても。フリーで自由にSUPできるなら安いとありがたいです。**レンタル**は必要なものと**トイレ**と**着替え室**、**待合室**があるとありがたいです。今回は女川道の駅に**車中泊**でいつも思うことがありますのでついでに。エンジンかけたまま車中泊出来たらいいのに。そしたら、冬暖房、夏エアコン使えるのになあ。エンジンOKエリアをご検討お願いします。お昼を食べたり、お茶を飲んだりする**休憩室**、**東屋みたいな場所**があるといい。

**トイレ**と**シャワー設備**があれば最高です。本日は大変お世話になりました。ありがとうございます。

ターゲットとするのはアッパー層を対象とするべきで、参加費が高くても、内容が良いことを目指すべきだと思います。

# 1 島の魅力体験会の結果

## ⑤ 観光ニーズに関する意見

Q1-2. 出島での昼食会の満足度はいかがでしたか。  
回答数 23



## 出島に関する観光ニーズが確認された

Q2-2. 出島架橋が完成後、車で訪れることが可能になった際、また出島を訪れたいと思いますか。  
回答数 23



Q2-3.

出島を訪れた時に、やってみたいこと・楽しみたいと思うことがありましたら、お聞かせください。

- ・キャンプ (5)
- ・釣り (4)
- ・SUP (3)
- ・民宿での宿泊 (3)
- ・海水浴・素潜り (3)
- ・トレッキング (2)
- ・島歩き・歴史探訪 (2)
- ・バーベキュー (2)

磯遊び、シーカヤック、サウナ、ハンモックで昼寝、車中泊、海鮮を食べる、ビーチクリーン

# 1 島の魅力体験会の結果

## ⑤観光ニーズに関する意見

出島の魅力として、海や景色など自然環境に関するもののほか、地元の方との交流や食に関する意見も挙がった

Q3-3.

あなたが今回の体験会で発見した、出島の魅力を教えてください。

波が穏やかで透明度が高い  
 食べ物が美味しい、シーグラスがある  
 海がキレイ 猫がかわいい  
 景色の良さ。自然の豊かさ。  
 区長さんの人当たりの良さ。手付かずの海。静けさ。  
 区長さんのトーク  
 海がキレイ！透明度が高い！  
 水質が良い、都会の喧騒がない、海産物が美味しい、銀鮭が美味しい、磯の生き物の多様性、猫  
 海の生き物がいっぱい、海の透明度、小さな島が見える景色、漁港の雰囲気、  
 女川海岸から近い。  
 海がメチャクチャきれいだった。  
 海がきれいで波がおだやかなので、  
 波が穏やか  
 さざなみの音、鳥の鳴き声、本土側が一望でき1日居ても飽きがない所です。自然の宝庫！  
 離島感、近い所なのに、どこか遠くの島に旅してるような感覚がありました。橋ができれば多くの観光客が訪れると思いますが、宮古島みたいな近代リゾートではなく、奄美みたいな島の原風景を残した観光開発が合っている島だと思います。サップツーリングやカヤック等のパドルスポーツがやはり相性がいいですね。  
 民宿に泊まってみたい。地元の方の交流。震災の語り部がいても良いかも。  
 美しい景色、優しく温かい島民の皆様、美味しい海の幸！！  
 海がきれい。日常を忘れてゆっくりした時間がすごせそう。  
 砂浜と海がキレイで食べ物が美味しい。  
 水がきれいで景色がよい  
 島をめぐる体験が面白い、SUP以外にも楽しめそうなものがある  
 仙台方面から女川までは1時間くらいなので行きやすい。橋ができれば最高ですね。夏浜もきれいですが峠道がきびしいし風が強いことが多い。夏浜には4回行きましたが2回は強風で、隣のきれいな浜へ行けなかった。もしも夏浜へ行く予定になった場合、風の様子を見て出島へ途中変更するのもアリと思う。他には無いシーフードBBQが手軽にできるのなら最高です！



# ⑦-2 取組の試行 | 島の魅力体験会

課題：

## 1 島の魅力体験会の結果

### ⑥ 架橋までにやるべき事

出島来訪者のニーズ別に観光プランを想定し、次の点に関するハード整備やルール検討を進める

1. 安全面（事故やトラブルの発生を防ぐ）
2. 利便性（施設案内、交通案内）
3. 魅力（出島ならではの魅力を提供）
4. +α（さらに魅力を伝えるために実施したほうがよいこと）

利用者像	行動	やるべき事
出島に橋が架かったので渡ってみたい	<u>ドライブのついでに自家用車で来訪</u> ・島内を一周したい ・車を停めて小休憩したい	[安全]駐車場の案内 [利便]トイレの整備 [利便]自動販売機の設置 [+α]海岸漂着物の撤去
釣り人	<u>自家用車に釣り道具を積んで来訪</u> ・釣りの間、駐車しておきたい	[安全]駐車場の案内 [安全]釣ってよい場所の案内 [安全]マナー啓発 [利便]トイレの整備 [利便]自動販売機の設置
海がきれいな離島で海を楽しむマリンアクティビティを体験したい	<u>仙台都市圏から公共交通で来訪</u> ・ガイド付きでSUPを体験したい ・出島ならではの食を楽しみたい	[利便]トイレの整備 [利便]自動販売機の設置 [魅力]SUP等、マリンアクティビティの提供 [魅力]食事の提供 [+α]海岸漂着物の撤去
出島トレイルで離島の自然を体感し尽くしたい	<u>仙台都市圏から公共交通で来訪</u> ・出島トレイルを踏破したい ・民宿に宿泊し、出島の自然を体感したい	[利便]トイレの整備 [利便]自動販売機の設置 [魅力]策定済トレイルルートの整備・保全 [+α]海岸漂着物の撤去

## ⑦-3 取組の試行 | umihamaそうじ

2023/9/24に、ビーチクリーン活動を行っている一般社団法人石巻海さくらの活動の一環として、出島で海岸清掃を行った。

### 石巻海さくら 第121回umihamaそうじ 出島特別編

参加者 : 約75名  
 回収できたごみ : ペットボトル 11袋  
 缶 1袋  
 ビン 1袋  
 燃えない 1袋  
 燃える 90袋  
 大きい漁具  
 浮き  
 タイヤ  
 など軽トラック3台分



集合写真



チャーター便で出港



作業前ミーティング &amp; ラジオ体操



分別方法の説明



区長さん&amp;高野さんあいさつ



作業の様子



作業の様子



石の撤去作業



休憩タイム



回収したごみを軽トラで運搬



作業後ミーティング& 感想の共有



回収したごみをチャーター便で運搬



女川港に到着

## ⑦-4 取組の試行 | 沿線まるごと社を招いての勉強会

## 離島振興に関する勉強会 プログラム

12月4日：

12:10 女川港 発

12:30 出島港 着

↓ 出島内の視察

- ・ 出島漁港、久栄荘跡地
- ・ 旧第二中学校、旧第四小学校跡地
- ・ 寺間漁港、小坪地区
- ・ ストーンサークル(配石遺構)
- ・ トレイルルート

15:50 出島港 発

16:55 女川港 着

18:00 沿線まるごと株式会社プレゼンテーション（於：女川フューチャーセンターカマス）

19:00 質疑応答

20:30 プレゼンテーション終了

12月5日：

09:30 出島振興に関する沿線まるごと株式会社との意見交換会  
（於：女川フューチャーセンターカマス）

↓

12:00 意見交換会終了

↓

解散



## 講師のご紹介

**嶋田 俊平** (株) さとゆめ 代表取締役 / 沿線まるごと (株) 代表取締役

地方創生に特化して企画構想から整備、運営までを手掛ける(株)さとゆめを設立。山梨県小菅村にて道の駅小菅の総合プロデュース、地域の古民家に宿泊して地域資源を楽しむNIPPONIA小菅を開業。JR東日本と共同出資会社「沿線まるごと(株)」を設立し、沿線まるごとホテルプロジェクトを推進。

**会田 均** 沿線まるごと (株) 取締役 / JR東日本八王子支社 地域共創部 地域連携ユニット

JR東日本八王子支社にて、地域連携に取り組む中で、NIPPONIA小菅に出会い、沿線まるごと株式会社を設立し取締役就任。沿線まるごとホテルプロジェクトを推進。

**牧 秀明** 沿線まるごと (株) ディレクタ

JR東日本から沿線まるごと(株)に出向。沿線まるごとホテルプロジェクトの地域調整を担当。

**比企 永子** (株) さとゆめ 経営企画室 コンサルタント

沿線まるごとホテルプロジェクト、観光DMOを担当。

### 沿線まるごとホテルプロジェクト

11の無人駅が連なるJR青梅線沿線全体をホテルに見立てる地域活性化プロジェクト。

無人駅をホテルフロント、空き家となった古民家を客室やレストラン、集落道を廊下、地域住民をキャストに見立て活用する。集落自体の人や知られざる地域の文化・習慣等を観光資源として活用し、地域住民とともに運営を行う新たな滞在型観光を提供する。

2020年から実証事業がスタート。2024年3月に本格開業を予定している。

<https://marugotohotel-omeline.com/>

### 沿線まるごと株式会社

- ・古民家宿泊事業（空き家改修から宿泊事業運営）
- ・地域観光事業（地域ガイド運営・地域体験運営）
- ・小売り・eコマース事業（地産品販売）
- ・その他サービス事業（伴走型地域課題解決コンサルティング）等

勉強会運営・お問合せ：合同会社モノコトビト

080-4121-4580

ceo.sue@monocotobito.jp

## 沿線まるごとホテル

「沿線」を「まるごと」楽しめる「ホテル」。

駅とその周辺の集落に点在する地域資源を“編集”し、  
地域全体を“一つのホテル”に見立てた世界観をつくりだす。

Satologue.

「沿線まるごとホテル」は、無人駅の駅舎等をホテルのフロントやロビーとして活用し、沿線集落の空き家をホテルの客室に改修し、さらには地域住民とともにホテル運営を行うことで、「沿線」を「まるごと」楽しめる「ホテル」のようなサービスを作り出すことを目指したプロジェクトです。  
地域の魅力を再発見するマイクロツーリズムや、生活観光といった新しい旅のあり方を提案することで、様々な地域が新たな繋がり方を発見し、活性化することを目的としています。

所属	氏名	担当	12/4現地見学会	12/4勉強会	12/5意見交換会
沿線まるごと株式会社	嶋田 俊平	(株)さとゆめ 代表取締役 / 沿線まるごと(株) 代表取締役	●	●	
	会田 均	沿線まるごと(株)/ JR東日本八王子支社	●	●	●
	牧 秀明	沿線まるごと(株)	●	●	●
	比企 永子	(株)さとゆめ		●	●
女川町まちづくり関係者	高野 信	出島の振興に取り組む（一社）女川未来会議 出島プロジェクト 代表理事	●	●	●
	佐藤 昭宏	佐藤工業(株) 社長	●		
	末 祐介	合同会社モノコトビットCEO	●	●	●
	伊藤 俊	合同会社モノコトビットCFO	●		
	青柳 新吾	合同会社モノコトビットCDO	●	●	
	後藤 大輝	起業支援に取り組む NPO法人アスヘノキボウ代表理事		●	●
	遠藤 琢磨	（一社）女川町観光協会 事務局長		●	
	芳岡 孝将	子ども・若者の居場所づくりに取り組む（一社）まちとこ 代表理事		●	
	平井 慶祐	ビーチクリーンに取り組む NPO法人石巻海さくら 幹事、写真家		●	
	金山 美月	中央復建コンサルタンツ(株)	●	●	●
	横山 修治	中央復建コンサルタンツ(株)	●	●	●
女川町地域おこし協力隊	太田 悠介	出島・女川町半島部でアクティビティの開発に取り組む	●	●	●
	大山 海渡	出島で観光コンテンツの創出や島内の管理・保全に取り組む	●	●	●
	鹿又 陸	出島で観光コンテンツの創出や島内の管理・保全に取り組む	●	●	●
女川町役場	木村 利基	企画課企画調整係（離島振興 担当）		●	
	佐々木 裕二	企画課企画調整係（離島振興 担当）	●		
	清水 章宏	産業振興課観光係（観光振興 担当）		●	●







## 出島でのプロジェクト発足に向けて

- ・ 島の魅力体験会まで、かなり進んでいるように見える。一方で、世の中への伝え方には工夫が必要（仙台、東京、海外から人が来るだろう）
- ・ 奥多摩と出島の類似点：来訪者を歓迎する一方で、生活を侵害されることへの危惧

[事例] 小菅村：分数村民制度 <https://ko-kosuge.jp/pointcard/>

気仙沼：クルーシップ <https://crewship.net/>

## チームでコンセプトを共有する

- ・ チームとしてやっていくためには「こんな出島にしたい」をみんなで共有することが必要。
- ・ 震災で磯場の環境が変わってしまったものを再生するプロジェクト、サウナのための豊かな森づくりが海のためにもなるようなこと、杉の間伐材をつかってのサウナづくり等、環境づくりにも広げていきたい。
- ・ 釣りについて個人的には10-20年スパンで目標を立てている。出島としてのゴールは、自然環境を改善していきたいという軸がある。
- ・ 沿線まるごとプロジェクトへの評価には社会的課題の解決（誰もがよいと言ってくれること）も寄与している。
- ・ 釣りやサウナを通して出島をどうしていきたいかを大事にしてほしい。

## チームとして1つのプロジェクトを立ち上げる効果

- ・ 沿線としてという見せ方は外部にはわかりやすく、事業がそれぞれあってもwebサイト上では繋がっているように見えるようにするなど面にする作業がこれから必要と感じた。過疎地域で各事業者の取り組みが点で終わってしまうことがあり、つないでいく部分が重要と思っている
- ・ チームで共通のゴールを置いてそこを目指すことが必要
- ・ サウナがメインのプレスリリースに、釣り事業の進捗状況を載せたり、その逆があったりと考えられる
- ・ メインとなるプラットフォームの管理が必要となる
- ・ 地域おこし協力隊は、面で動くために関係者みんなが集まる場が必要と感じる
- ・ 組んで動くことは効果的、いいことをやっても点では振り向いてもらえないことがある

## 地元との関係

- ・ 自治体担当者からアドバイスを受け、自治会の集会や回覧板・町誌、町議会の視察受け入れで地元へ情報共有した。
- ・ 地元新聞も大事。メディア露出は様々な人から応援してもらえるようになる。
- ・ 地元に光が当たることを嫌がる人は少ない。住民は地域への誇りを持っているもので、発信することを喜んでくれる。
- ・ 自治体との連携は必ず必要。自治体と連携せずに事業で進めようとする、方向性はよくても、結局うまくいかなくなる。
- ・ 営利事業を行う民間としてあくまで顧客のためのサービスを考える必要があるが、「地域のために」の視点も必要。バランスが重要。離島であり住民が少ない出島では、外部の人が入ってくることへの難しさを抱えていると思うので、そのバランスを考える必要がある

# ⑦-5 取組の試行 | MNSBモニターツアー

主催：女川町地域おこし協力隊 太田  
 日時：2023年12月10日(日)7:30~12:00

内容：釣り人が行う清掃活動と、キャッチ&リリースの独自ルールを設けたボートフィッシングを組み合わせたモニターツアー

釣り人だから知っていること

釣り人だから見える自然

釣り人だから気づく環境

それなら釣り人がよくしよう

**WITH ANGLERS**

**12.10 SUN**

- モニター募集先着 5名
- 7:30~LAST
- 女川町出島 (集合は石浜漁港)
- ¥4,000 (税込モニター価格) (保険代、遊船代込み)

About tour/ ツアー概要

- ▶ 出島海岸クリーンアップ
- ▶ お屏の交流会 (お屏はこちらで用意)
- ▶ ロックフィッシュ調査会
- ▶ 懇親会 (任意参加)

Tour Corporate/ 協力  
 株式会社 ANGLERS  
 三浦 弘希 さん

※本イベントはモニターツアーとなります  
 MNSBは次年度以降の定期開催を目指しております

**making nature sustainable BASE**  
**MNSB**

告知フライヤー表

**MNSB with ANGLERS**  
**-making nature sustainable base-?**

making nature sustainable base with ANGLERSとは“釣り人の活動で自然環境が持続可能になる”を目的にその土台を作ろうというプロジェクトです。釣り人だから知っている海、自然環境の現状、魚の現状は多いのではないのでしょうか？だからこそそれに対する危機感を感じられる人も多いかと思えます。これからの海を、これからの魚たちを守るためにも今からベースを築いていく必要があります。それは私たち釣り人だからできることでもあり、普段から釣りを楽しませてくれる自然への感謝の気持ちもこめてやっていきたいと思っております。魚を愛する釣り人の皆さんのお力をお貸しください。

**INTRODUCTION**

主催：女川町観光協会所属 地域おこし協力隊  
 太田 悠介 (Ota Yusuke)  
 プロジェクト協力/アドバイザー  
 (一社) 出島プロジェクト  
 合同会社モノコトビト  
 株式会社アングラーズ  
 女川遊漁船組合 遊漁船 富丸

三浦 弘希さん  
 合同会社モノコトビト

太田 悠介  
 地域おこし協力隊

**Join us!!** 参加申し込みフォーム

**PROGRAM**

< MORNING >	< AFTERNOON >
7:30 集合 (石浜漁港)	13:00~ 日没前 ボートロック調査 本土帰着
7:50 遊航	17:30~ 懇親会
8:10~8:30 到着 / 顔合わせオリエンテーション	予定時間の前後、内容の多少の前後がある場合があります。また、気天による中止は前日にご連絡させていただきます。
9:00~11:30 出島クリーンアップ	
11:30~12:30 お昼	

**BOAT ROCK**

MNSBでは今後の海の魚の生体保護の活動も視野に入れており、試験的にルールを設定を行っておりますことご理解ください。ルール詳細に関しては当日お伝えいたします。

**BASE**  
**MNSB**  
 making nature sustainable

告知フライヤー裏

## ⑦-5 取組の試行 | MNSBモニターツアー

- ・ ”釣り人だから知っている海辺環境がある”をテーマに釣り人が行う清掃活動と、持続可能な釣り環境を目指し、魚の扱いに関して独自のルールを設けたボートフィッシングのコンテンツを合わせたモニターツアーを開催。
- ・ 参加者の皆さんにこれからの釣り環境への意識を持ってもらい、クリーンアップ活動や、魚の扱いに関して高い意識を持って取り組んでいただけた。参加者の方にも「このような活動は今後の釣り環境にも良い影響があるから継続してほしい」などの声をいただいた。
- ・ 運営側としても、釣り達が釣り場環境改善意識はもっているものの、なかなか行動に移せていなかったこと、また今回魚の扱いに関するルールを設けたことで、そういった魚の扱いに関する意識が浸透しきっていなかった部分もあるということを学ぶことができた。

# ボートロック ルール

## ① ▶キープに関して

キープはオスのみ1匹までとし、それ以上は全てリリースとします  
※原則入れ替えはナシとし、「これだ!」と思う一本をキープお願いします

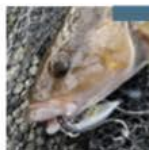
## ② ▶リリースに関して

リリースする際は必ずネットまたは、フィッシュグリップにて行い、魚が逆さまにならないよう注意しながら、魚自ら帰る意思を見せるまでしっかりと蘇生をお願いします

## ③ ▶魚の扱いに関して

釣り上げた魚の扱いはできるだけ水の近くで行うか、定期的な蘇生を行いましょ  
魚が弱っている見分けかたとしては、目に力があるかどうかを見るとわかりやすいです  
※写真を撮る際も何度も撮る際は定期的な蘇生をお願いします!

見分け方  
ガイド



目に力があり  
まだ元気な  
アイナメ



目に力を感じられず弱っている  
アイナメ

making nature sustainable  
**MNSB** BASE

ツアーで設定した「魚の扱いに関する独自のルール」

